

名古屋市SDGs推進プラットフォーム発信会（第2回）開催報告

令和4年11月15日、オンライン形式（Zoomによる視聴）にて名古屋市SDGs推進プラットフォームの第2回発信会が開催されました。会員自らが発信者となり、自身のSDGsの取り組みや連携事例を共有しました。プラットフォーム会員の約60名に参加（視聴）していただき、参加された会員の方々は、SDGsの達成に向けて多くのヒントや学びを得られたようです。

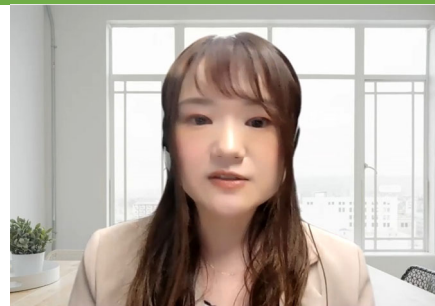
●スターキャットがつなぐ SDGs ～社内プロジェクトと番組制作～ 大島 優 様／スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社

◆会社概要

名古屋市を中心に、通信サービス、放送サービス等を提供するとともに、2館の映画館を運営している。

◆SDGsの取り組み

2021年からSDGsの取り組みを始めたが、社会貢献活動だけでは活動の継続が困難であった。そのため、SDGsを事業に取り込んでいきたいという思いから外部講師を招き、社内でSDGs推進プロジェクトを発足。さまざまな取り組みを企画した。例えば、試行的なイベントとしてドローンプログラミング教室（小学生向け）を開催した。また、企業や団体のSDGsの取り組みを紹介する番組「SDGsミライ Program」の制作を始めた。



スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
企画部 企画グループ 大島 優 氏

◆SDGsミライ Program

2022年9月から放送開始。企業や団体のSDGsへの取り組みを発信することで、地域全体のSDGs に対する意識を向上させていく。プラットフォーム会員の取り組みも紹介している。スターキャットのコミュニティチャンネルやYouTubeで番組を視聴できる。（<https://www.youtube.com/playlist?list=PL1t58gcnW-5rC1QI2ZK0P-JHC3Bs5HJK4>）

◆NAGOYA CINEMA Week 2022 ～with SDGs～

映画を通してSDGsを知り、楽しみ、学ぶ場を提供。2022年度は、地域の企業・団体・市民をつなぎ、SDGsに通じる感性を育むきっかけとなる作品を上映するとともに、映像AWARDやSDGsマルシェなどさまざまなイベントを開催した。

◆今後の活動

番組の制作・放送を通して、企業・団体のSDGsの取り組み発信のお手伝いをさせていただく。引き続き取材先を募集しているので、お声がけいただけると幸いです。

▼名古屋市SDGs推進プラットフォーム専用ウェブサイトにてリクエストシートを公開中

詳細は、下記URLをご参照ください。

<https://sdgs-pf.city.nagoya.jp/resource/matching/seeds%20-%20113.pdf>

●外国人材の活躍支援 ～留学生の就職支援の取り組み～ 莫 然諾 様／一般社団法人グローバル愛知

◆団体の概要

2017年に設立した非営利団体で、①中小・中堅企業における人材不足の解消、②留学生の就職率向上と定着をミッションとして活動している。

◆設立の背景

2030年には644万人の労働力不足が生じると言われている。労働力不足による経済成長の停滞を防止するためには「働く外国人を増やす」という方法がある。しかしながら、日本は諸外国に比べて外国人材の受け入れが遅れており、留学生の就職率は約3割に留まっている。



一般社団法人グローバル愛知
事務局 莫 然諾 氏

◆外国人材の活躍支援

前述の状況を打破し、SDGs目標8「経済成長と雇用」を当団体が単独で達成するのは困難なため、さまざまな団体と連携ネットワークを構築している。

留学生が日本での就職にあたって一番足りないと感じていることは「語学力」とあるという調査結果があるため、無料の日本語講座を行っている。それにより就活情報収集力の向上・就活情報交換の活性化が期待できる。面接対策としては、プラットフォーム会員の花王様にご協力いただき、留学生向けの身だしなみ講座を大学にて開催した。そのほか留学生向け就活相談会を毎月開催している。企業に向けては留学生の採用・活躍セミナーや外国人社員受け入れ研修を行っている。留学生に特化した会員制の職業紹介サービスもっており、会員になられた企業は何人採用していただいても手数料は無料である。入社後は、アフターフォローサービス（有償）により社員の定着をサポートする。

◆当団体の取り組みとSDGs目標との関係性

SDGs目標8「経済成長と雇用」を達成するためには、目標17「パートナーシップ」、目標4「教育」、目標5「ジェンダー」、目標10「不平等をなくそう」も大きな関わりがある。これらの目標達成に向けて取り組むことが外国人留学生が日本で就職するための環境づくりとなり、「経済成長と雇用」の実現につながる。また日本での就職により貧困からの脱却が可能となる留学生も多く、ひいては目標1「貧困をなくそう」にもつながると考えている。プラットフォーム会員の皆さまにもぜひ外国人留学生の採用を検討していただきたい。

●SDGs・環境事業を通じた地域創生への取組み ～石灰石からつくる新素材LIMEXの活用～ 古野 敏彦 様／株式会社新東通信

◆会社概要

1972年設立の総合広告会社である。地域創生を会社の使命と捉え、事業を行ってきた。2030年に向けて愛知を起点にSDGs・環境事業を通じ、地域創生に貢献していきたい。

◆LIMEXを推進する背景

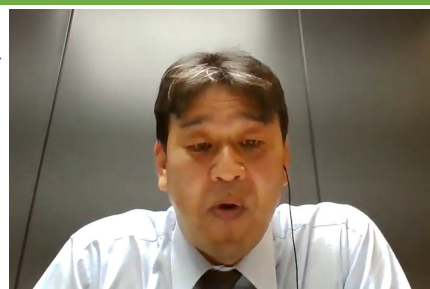
世界の人口は増加の一途を辿っており、資源・気候・水など、あらゆる側面において地球の持続可能性に危機が迫っている。プラスチックや紙の消費量も増加を続けているが、環境配慮型の素材に置き換えることで環境負荷の軽減につながる。

◆LIMEXについて

LIMEXは石灰石を主原料として、プラスチックや紙の代替となり、エコロジーとエコノミーを両立可能な新たな素材である。石灰石は世界中に豊富に存在し、日本でも100%自給自足が可能となる原料である。LIMEXをプラスチックや紙に代替することにより石油資源や水資源の使用量を大幅に削減できる。また、温室効果ガスの排出を抑制できる。プラスチック・紙での用途で用いられる多様な成形に対応しており、プラスチック代替製品の導入事例としては袋やクリアファイルなど、紙代替製品の導入事例としてはメニュー表やポスターなどがある。今後も用途の拡大により市場への浸透が大いに期待できる素材である。

◆今後の展望

中部エリアのパートナー企業等とともに、連携してLIMEXの普及推進に取り組むことで、SDGs目標12「循環型の消費と生産」を中心に、6「水資源の保全」、13「気候変動対応」、14「海洋生態系の保全」、15「陸域生態系の保全」、8「雇用創出」、9「産業創出」、17「協働」のゴール達成に貢献していく。



(株)新東通信 古野 敏彦 氏



●公民連携推進の取組説明と参画のお願い 林 遼平／名古屋市総務局総合調整部総合調整室

公民連携とは、企業など多様な民間主体と行政が、相互の対話を通じて連携し、それぞれが持つアイデアやノウハウ、資源、ネットワークなどを結集することで、行政課題や社会課題の解決に資する新たな価値とともに創出（共創）することである。

名古屋市民連携施策「ナゴヤフロンティア」では、以下の3つの取組みを実施している。

①公民連携窓口

行政課題等の解決に資する民間企業等からの提案・相談を一元的に受け付け、提案の実現に向けたコーディネートを実施

②公民交流フィールド

本市との連携を希望する民間企業等を会員として登録し、課題解決へのイノベーションを促す

③公民連携ポータルサイト

公民連携窓口における民間提案の受付や公民交流フィールドにおける情報発信を行う

プラットフォーム会員の皆さまには、ぜひ公民交流フィールドへ登録していただき、共に課題解決に向けて取組んでいただきたい。

▼名古屋市民連携ポータルサイトは、下記URLをご参照ください。

<https://www.nagoya-frontier.city.nagoya.jp/>

さいごに
みなさまにお願いしたいこと

まずは！

- ・公民交流フィールドへの会員登録
 - ・公民または民間同士の対話・連携の機会を創出します！
 - ・公民連携に関する情報をお届けします！
 - ・今後、会員様のみを対象とした企画も実施していく予定です
 - ・登録は部署や支社・事務所の単位でもOK！（各企業様1つまで）
- ・公民連携窓口での連携提案
 - ・新たな事業機会の創出につながる可能性があります！
 - ・総合調整室から担当部署に橋渡しを行います！

【参加者（視聴者）の感想】（一部抜粋）

- ・このような場で発表される事が素晴らしいと思いました。私たちも自ら発信できる企業になるべきだと思いました。
- ・同業者の発表があり、参考になった。今ある資源を活用し、新規事業へ挑戦されているところは見習いたいと思いました。
- ・社内取り組みにおいてメンバー選抜の参考になった。5年後、10年後を見据えて各部署より若手～中堅社員の選抜を検討していきたい。
- ・他社の具体的な取組みを知ることができ、連携の可能性を見つけることができた。
- ・SDGsを知っていても、実際に活動するのは意識の高い人、関心の高い人、限られた人、というイメージを持っている企業、大学、自治体等が多い中、今回登壇していただいた方々はSDGsを中心として運営・管理を回していたり、回そうとされていることに敬意を表したい。